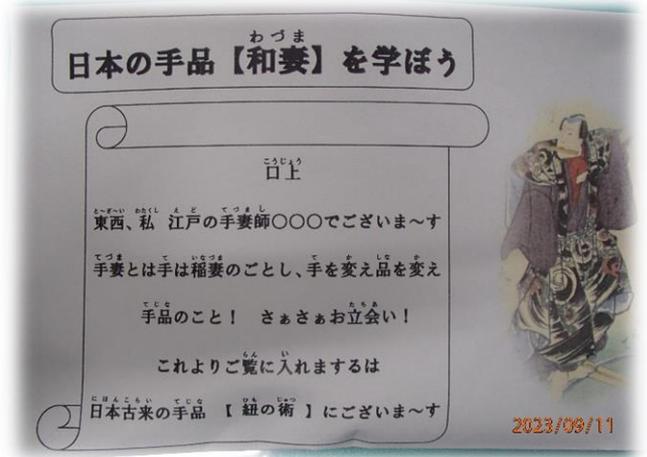


和妻を体験しました



9月11日（月）に和妻を体験しました。和妻（わづま）とは、和風の手品のことです。江戸の和妻師、京子さんが、“東西、～”と、歯切れ良く調子の良い台詞を言いながら、鮮やかな手つきで道具を操ると、2年生のみんなは見事にだまされてしまいました。一人ずつ和妻のお土産もいただき、いくつかの技も楽しく教えていただきました。和妻はふだん、演芸場や寄席などの場所で見られるそうです。